

意見書案第1号

コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書について

コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書を別紙のとおり提出します。

令和3年9月27日提出

提出者 佐野市議会議員 小 暮 博 志

賛成者 佐野市議会議員 飯 田 昌 弘

〃 春 山 敏 明

〃 木 村 久 雄

〃 鶴 見 義 明

〃 金 子 保 利

意見書案第1号提案説明（演壇）

只今より、意見書案 第1号 コロナ禍による厳しい財政状況に対処し、地方税財源の充実を求める意見書について、の提案理由の説明を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症のまん^{えん}延により、地域経済にも大きな影響が及び、地方財政は来年度においても、引き続き、巨額の財源不足が避けられない厳しい状況に直面しております。

地方自治体では、コロナ禍への対応はもとより、地域の防災・減災、雇用の確保、地球温暖化対策などの喫緊の課題に迫られているほか、医療・介護、子育てをはじめとした社会保障関係経費や公共施設の老朽化対策費など、将来に向け増^{ぞうすう}嵩する財政需要に見合う財源が求められます。

その財源確保のため、地方税制の充実確保が強く望まれます。

以上のことから、令和4年度 地方税制改正に向け、コロナ禍による厳しい財政状況に対処し、地方税財源の

充実を求めるため、意見書を国会及び関係行政庁に提出
したいので提案するものでございます。

本案が可決されましたら、9月28日付けで意見書を
提出したいと考えております。

議員各位のご賛同を賜りますようお願いを申し上げ
まして、提案理由の説明とさせていただきます。